

常葉大学の学生さんに聞いてみました

今回お二人の学生さんにご協力いただきました。

◆お1人目の学生さんです。

常葉大学のPR

保育者として働いていた先生や、長年保育のことを研究している先生がたくさんおり、実習のこと、就職のことを親身になって聞いてもらえ、自分の得意、目標が見つかると思います。

Q1 アンケートに答えてくれた学生さんの学部・学科・学年・性別

保育学部、四年、男性

Q2 保育士を目指そうと考えたきっかけ

幼少の時、父が亡くなり引っ越しをしました。当時の私は新しい環境に対してとても不安を感じていました。実際に転園先の園に行ってみると、先生方がとても暖かく迎えて下さりました。また、その園には男性保育士がおり、父を亡くした私にとってはとても心強く安心しました。この幼少期の記憶がとても強く残っており、私自身子どもの支えになることができるような保育者になりたいと思い、保育者を目指しました。



Q3：保育士養成校を受験するのにあたって準備したことは

受験形態は「AO入試」でした。そのため、実際に園に3日間でしたが実習をさせていただき、先生方の業務内容や子どもたちとの関わりについて学びました。それ以外にも、保育にまつわる書籍を読んだり、保育にまつわるニュースや出来事を収集し、自分なりに目指す保育者像を考えていました。

Q4：学校でどんな勉強をしていますか。

「特別なニーズ教育の基礎と方法授業」という授業では、「ADHD」や「自閉症」「学習障害」「知的障害」などの発達障害について学び、適切な関わりかたや援助方法について学ぶことができます。また障害児を取り巻くさまざまな機関との連携や保護者支援など保育者の専門性を改めて感じました。習ったことただ暗記するのではなく、「現場で何ができるのか」ということが問われるので、難しい面もありますが、自分のものにすれば、実習や就職の際に自分の武器になると思います。

大学では、保育にまつわる様々な事柄（ピアノや合唱、食、保健、絵本など）を学ぶことができます。その中で自分の得意・好きな領域があれば、どんどん深掘りしていき自分の武器を見つけてほしいです!!



Q5：授業や実習の中で苦労したこと、楽しかったことなど

実習は子どもたちと関わることはもちろんのこと、「日誌」や「指導案」等、授業では学ぶことができないことを学ぶことができました。日誌は1日の保育の流れや実習の狙いを明記し、子どもたちと接する中

で得たエピソードについて自分の接しかたや自分の考えを記入し、自分の保育の振り返りを行います。どの時間に何をするのか、その時の子どもの予想される姿や、留意点をあらかじめ確認するものであり、保育の方向性を示すものです。書き上げるまでに時間がかかり苦労しました。しかしながら、日誌や指導案を先生方に見ていただき、自分に足りないもの、考え方や接しかた、声掛けのレパートリーなど授業では学ぶことができない、実践的なことを学ぶことができたと思います。子どもたちから「楽しかった」「またやりたい」と言ってもらえると、とても嬉しく頑張ってた良かったと感じることができました。

Q6：最後に、これから保育士を目指す中高生に向けてメッセージをお願いします。

保育学部に入學し学ぶ中で、保育の仕事は「子どもが好き」なだけでできない仕事であると感じました。保育者の業務の中には、子どもと接しない時間での仕事（書き仕事や小学校との連携等）が多くあり、保育者の専門性が多岐にわたるということを知りました。しかしながら、実習を通して子どもたちと一緒に成長していく感覚や、子どもの成長を身近で感じることができるというようにとてもやりがいのある仕事であると思います。これからの社会を担う子どもたちを未来に繋ぐという素晴らしい職業であると思います。つらいことや大変なことが沢山あると思いますが、大変な中でも自分なりに楽しさや、やりがいを見つけてください！！



◆お二人目の学生さんはグループの皆さんにお答えいただきました。

ま

常葉大学の一言 PR

Beyond the Limits!

Q1：アンケートに答えてくれた学生の学部、学年、性別

保育学部 1年 女性

Q2：保育士を目指そうと考えたきっかけは

周りに幼い子どもが多く、面倒をみる機会があったため
得意なピアノを続けたかったため

Q3：保育士養成校を受験するのにあたって準備したことは

過去問の勉強
保育関係のニュースを調べた。

Q4：学校でどんな勉強をしていますか。

合唱の授業で子どもの歌を教材に、子どもにどう伝えるかを考えて発表している
また、表現活動や歌詞の意味を話し合いながら研究した



Q5：授業や実習の中で苦労したこと、楽しかったことなど

現場での対応を学ぶ前に実習に行ったため、分からない事が多くあり大変だったが、子どもが心を開いてくれたことがとてもうれしかった

Q6：最後に、これから保育士を目指す中高生に向けてメッセージをお願いします。

大変なこともあるかもしれないが、切磋琢磨できる仲間に出会えるので、保育に興味ある人は是非がんばってください

